

信頼のある住宅造りを目指す。



〒861-2106 熊本県熊本市東区東野2丁目6-1
tel.096-367-0811 fax.096-365-8426
<https://www.k-murata.co.jp>

村田工務店



KIZAMI PREMIUM



百年受け継いできた家づくりの魂を 次の百年に継承していくために

大正5年に創業して以来、村田工務店が守り、受け継いできたのは、厳しいながらも誇り高い宮大工の伝統です。プレカットによる工期短縮や、効率化、コスト削減が求められ、それがいつしか家づくりの主流となりましたが、その時代の流れにのることなく、頑なに大工による”手刻み”工法にこだわり続けてきたのは、この創業から受け継いできた誇りがあったから、と言っても過言ではありません。設計図をもとに家づくりに必要な材料を切りだす、とい

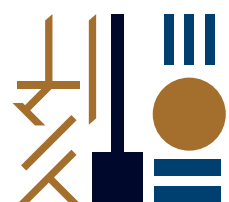
う同じように見える作業でも、機械で行うプレカットと、大工の手による手刻みでは大きな違いがあります。

それは、手刻みに刻まれる職人の魂です。工期短縮、コスト削減だけに注目すれば、圧倒的にプレカットが優位にあります。ただ、村田工務店の手刻みへのこだわり、家づくりの姿勢に共感してくださり、「ぜひお願いしたい」と言ってくれるお客様が後を絶たないのも事実です。機械化、効率化だけではなく、人の手による温もりのある技術

を求めている人がいる限り、私たちはこの技術を守り、受け継いでいく使命を果たすべきだと、さらに強く感じます。現在は、手刻み工法で家づくりを行っている工務店は、全国で10%程度。今後、その技術を絶やさないためにも、一軒、一軒、これまでと同様に真心をこめた家づくりに取り組みながらも、情報を発信しつづけていきます。それが、日本の伝統文化ともいえる、大工の技術を継承していくことにつながると考えています。



黒を基調とした外壁が印象的なモダンな構え。
竹垣と石垣の境も見事な仕上がりが。だ。



〔上益城郡益城町／村田邸 我家マーク〕

現代の住宅建築現場において
シェア率1%以下といわれる
「手刻み工法」。
大正期の創業以来、
その伝統技術を守り抜く同社に、
注目の新ブランドが誕生した。



夜間はライトアップされて幻想的な姿を見せる。

102年の結晶「刻」誕生



造作のシューズインクロウ。玄関はゲスト用と家族用で空間をわけた。姿鏡も設置した。



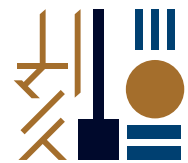
吹き抜けて開放感のある玄関エントランスホール。



太い大黒柱が印象的なLDK。壁にはカウンター席も設置。二間ある和室にも隣接している。



薪ストーブのあるLDK。炎が身近にある暮らしが理想だったという。家の断熱性が優れているため、冬場はこのストーブ1台で家全体が暖まる。



光の演出で さらにプレミアムな佇まいに昇華する和モダンの一棟。

創業102年。日本伝統の技術を継承しながらも、新しく良いものは積極的に取り入れる、村田工務店の家づくり。その同社に誕生した新ブランドが「刻 Kizami Premium」だ。村田工務店の代名詞といえ、大正より平成の今まで続けている「手刻み工法」。そ

の「刻」を冠にした一棟が今回の舞台である。竹垣と石垣の塀に囲われた敷地に立つ堂々たる和モダンの構え。石畳のある手入れの行き届いた庭園を有し、黒の外壁と天然木の柱が映えている。建坪は二世帯住宅仕様で80坪の広さ。建物の裏手には代々伝

わる御神木として椎の大木があり、陽と風を最大限に活かしたパッシブデザインを基に「椎座幕(しいざくら)」というコンセプトで設計されたという。夜間は外観がライトアップされ、家の内から漏れる灯りと共に幻想的な佇まいで迎りを魅了する。そ

の美しい様に、百年企業の集大成として辿り着いた極致を感じる。圧倒的な存在感だ。この新築の主は、同社の村田英樹社長。熊本地震で被災。自邸が全壊し、この新築は建て替えだった。震災後は車中泊を経て、会社の資材置場として利用していた建物

で生活。手狭な空間で、特に大学・高校の受験を控えたご長男とご長女に負担をかけた暮らしだったと振り返る。「一刻も早く、家族のために安心できる住まいを建てたかったというのが本音です。しかし、熊本地震で被災した、多くの

村田工務店のオーナー様がいらっしゃる。オーナー様宅のことが最優先でした」と村田社長。熊本地震で被害を受けた同社オーナー宅は400軒以上。瓦と外壁の補修工事が一段落するまでに1年8ヶ月の期間を要した。



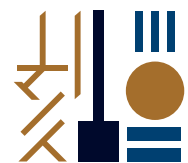
現代では珍しくなった二間続きの和室。随所に手刻みの結晶が詰まった空間である。



まるで高級旅館のように寛げるバスルーム。テレビを備え付けた。



上質な造作の手洗いと壁に溶け込んだタンクレスのトイレ。



“自然素材の伝道師”として有名な建築家 瀬野和広氏による設計デザイン。

設計は、建築家と家を創る「BDAC＝Style」を採用し、「設計アトリエ（東京）」代表の瀬野和広氏が担当した。瀬野氏は数々の有名コンペ、コンクールで受賞歴を誇り、“自然素材の伝道師”の異名でTV番組でも活躍。パッシブデザインを得意

とする人気の建築家である。村田社長とは数年前に行われた鹿児島の建築セミナーで出会って以来の旧知の仲だった。「手刻み」と「パッシブ」で、いつか一緒に仕事したいね」と意気投合して語り合ったという。

旧邸の解体工事がはじまった。集まった村田家の親族は涙を流した。同社2代目、そして現会長である3代目が建てた家だった。本家として50年超の歴史を刻んだ旧邸。「当時、めったにない家を建てようと、洋風モダンのデザインにしたと聞いています」



リビング全体が眺められるアイランドキッチン。



お子様たちの大切なコミック蔵書も造作書棚に。

「手刻み」×「パッシブデザイン」。
“神の手”をもつ匠による
伝統技術の数々。

和室二間に沿って広縁。



美しい造作階段。



落ち着いた照明が印象的な寝室。書棚も設置。



村田社長のクローゼット兼書斎には特注で造った筋トレ台も！

と村田社長。今回の新築において、同社の集大成として、また同社の次世代につながる作品として、4代目の思いと挑戦を込めた一棟になることは必然だった。

当初の設計案では、ビルディングガレージとシアタールームを計画していた。しか

し、村田会長より反対をされた。「村田家の本家として、シアタールームより“二間続きの和室”が必要との意見でした。逡巡しましたが、最後は会長である親父の意見を尊重しました」と振り返る。今回の新築でこだわった一つに「親孝行」という思いが

あった。「本家として親戚一同がお盆と正月に集まります。大勢を招くときに和室の二間続きがあると便利です。また今回、新築祝いをかれこれ5回行いましたが、人を招きいれる家としてこの選択はよかった」と村田社長。



和室周りの柱は、6寸(180mm)を使用し、昔ながらの差鴨居を採用。梁の下に構造材として鴨居を入れることで耐震性がアップ。



着工から完成まで1年。

多くの人の思いが詰まった102年の集大成。

着工から完成まで1年を要した。現場監督は同社の永田匠氏が担当。棟梁は木村優一氏が務めた。手刻み技術を基に玄関からLDK、キッチン、和室などの造りから、食器棚、テーブル、テレビボードなど造作家具…大枠から細部まで、熊本県産杉材や桧材を使用し、伝統を継承する匠による技術を見ることができる。リビングに配置した村田社長自身の念願だった薪ストーブや室内干しができるランドリールーム、書斎兼ウォークインクローゼットなども見所だ。

村田工務店に携わる協力業者をはじめ、社内外すべての英知がこの一棟に結実。新商品「刻」として、構造見学会から完成見学会、在宅内覧会と一般公開を重ねている。同社において、1年に数棟しか施工できないプレミアム仕様の「刻」。実例としてオープンにしているのが、内覧に興味がある方は同社に相談してみてもいい。

今回の家づくりで村田社長にとって、家族は欠かせないキーワード。将来同社5代目として期待を集めるご長男とは、大黒柱

に槍鉋(やりかんな)で装飾をいれる作業を行った。仕事現場で初めての息子との共同作業。「もちろん上質の時間でした」と村田社長は感慨深く語る。そして、背中を見て育った、三代目の村田会長。厳格な姿、その父への思い。完成した家の一つ一つの仕上がりを確認し、会長が「よか家になったな」と一言。父のその時の表情が胸の奥に刻まれたという村田社長。代々つないできた102年の重み。新ブランド「刻」にずっと詰まっている。



「刻」 Kizami Premium

熊本の気候・風土に適した県産の杉材や桧材を使用し、食器棚、テーブル、テレビボードなど造作家具も標準仕様に取り入れた、村田工務店の最高仕様プレミアム商品。



棟梁 木村 優一

伝統の手刻み技術において“神の手”を持つ一人。「一つひとつが手づくりだからこそ、想いを込められる」と語る。様々な現場で豊かな経験を積んできた実力者にとっても、今回の村田邸は特別だった。「手刻みは通常一棟で3週間くらいですが、今回は4ヶ月費やしました。これだけのスケールは一番。自分の技量以上の物を作りたいと思いました」という。木の適材適所を見極め、見どころを考える。棟上げ前までは「極度の緊張で眠れなかった」というエピソードも。



現場監督 永田 匠

手づくりの家の良さを体感してほしいですね。昔ながらの工法を組み合わせ、考えながら作っています。今回、普段できない難度の高い手刻み工法にも挑戦しました。差鴨居や、屋根の化粧垂木がその代表例です。柱にホゾ差して組み込む差し鴨居は、構造材として耐震性に優れています。しかし、通常の鴨居と違って棟上げの時に一緒に組み入れるため、精密な技量が要求されます。現在の住宅ではほとんど見ることが出来ない施工も見どころです。



代表取締役 村田 英樹

Point

弊社には「神の手」を持つ職人がたくさんいます。ゆえに職人に妥協はありません。「村田工務店の家は素晴らしい。そういう家を造りたい」。父である会長が常々話していた言葉です。私も四代目として事業を受け継ぎ、そして五代目予定の息子へ継承できるよう、大工職を大切に守りたいと思います。新商品「刻 kizami」は、年間数棟しかできませんが、お客様に伝統技術を是非見て頂ければと思います。

Data

敷地面積 376.18㎡
延床面積 253.64㎡
1階面積 172.71㎡
2階面積 80.93㎡

- 工法／在来軸組(手刻み)
- 基礎／ベタ基礎
- 断熱材／デコスドライ工法(セルロースファイバー)
- 屋根／いぶし瓦—文字書き+ガルバリウム鋼板
- 外装材／モルタル+スチン吹付(フッ素入り)
- 内装材／漆喰・和紙クロス
- 床材／小国杉(浮造り30mm)
- 開口部／サマーズX(トリプル+クリプトンガス入り)
- キッチン／タカスタンダード(レミュー)
- バスルーム／LIXIL(スパーージュ)
- 洗面化粧台／造作
- トイレ／LIXIL
- 換気設備／第一種換気システム全熱交換器(温家Eco)
- 防霉防蟻／エコボロンPRO(ホウ酸使用)
- 太陽光発電システム／Panasonic HIT 7.9kw
- 蓄電池／Panasonic 5.6kw
- 薪ストーブ／ハースストーン(マンスフィールド黒)
- 長期優良住宅 耐震等級2
- BELS UA値0.47(HEAT20 G1)
- 家族構成／ご夫婦+お子様2人
- プラン／BDAC=Style 設計アトリエ(東京) 瀬野和宏
- 工期／1年
- 竣工年月／2018年12月

建築家との家づくり

BDAC=Style

当社では自社建築士によるプラン設計と共に、
「BDAC=Style」を採用しています。

「BDAC=Style」とは

著名建築家による理想のデザイナーズ住宅を
低コストで実現するシステム。

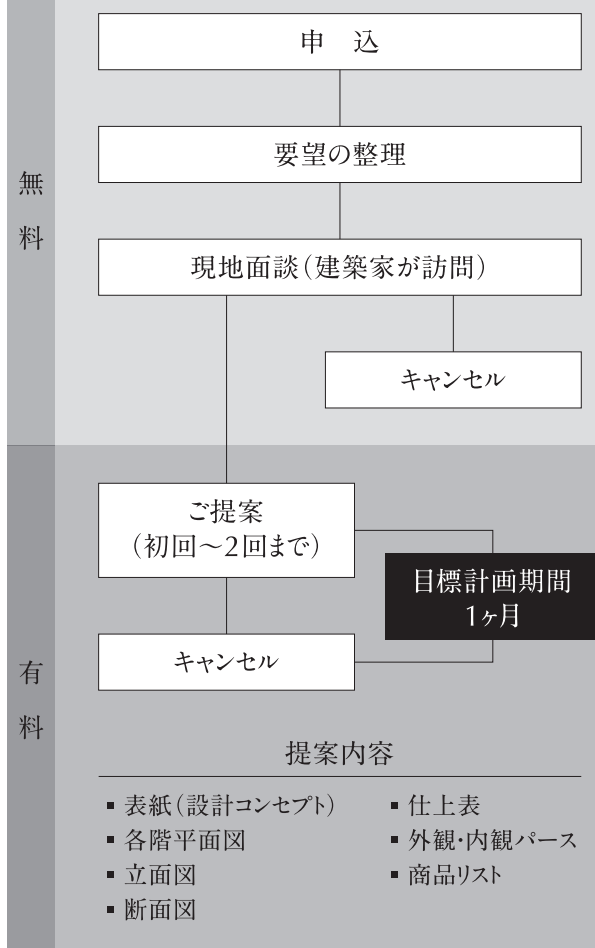
BDAC建築家の中から、施主様のご希望に適った建築家を選び、
敷地や家族の条件に合わせたオリジナルプランの依頼が可能です。

当社では、「BDAC=Style」で瀬野和広先生に2度の依頼実績があります(2019年3月現在)。瀬野先生は、太陽の熱や風など自然エネルギーを活用した、パッシブデザインを得意とされています。テレビ番組「大改造!!劇的ビフォーアフター」では年間大賞を2度獲得されるなど、現代を代表する建築家のお一人です。

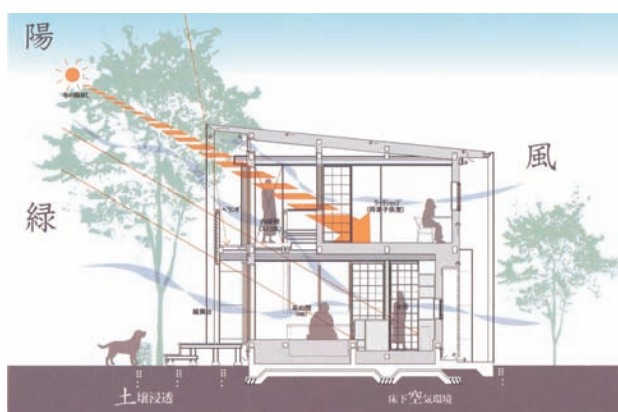
300,000円 / 1件

別途、BDAC登録料(10,000円)、
担当建築家の現地出張にかかる交通費負担が必要です。
詳細は当社までお問い合わせください。

利用手順



陽と風を住まいの軸に据えたパッシブ設計(瀬野和広氏)



夏の強い陽射しを遮りながら、冬の暖かな陽だまりをつくる間取りです。家中に風が行き渡り、年間を通じて快適に暮らすことができます。すべての部屋をまとめて一室空間と捉えて陽と風の流れを生み出しながら、一方で開閉に自由度を持たせプライバシーも守る間取りです。



BDAC加盟建築家
瀬野 和広

受賞・雑誌掲載

1957年 山形県生まれ
1978年 東京デザイナー学院 卒業
株式会社鬼工房
1979年 大成建設株式会社 設計本部
1988年 設計アトリエ 一級建築士事務所 開設
2006年～ CASBEE研究開発「住まい」委員
2009年～ 東京都市大学都市生活学部 非常勤講師

第2回、第3回「いわきの家」設計コンペ 大賞(2年連続)
千葉県建築文化賞
「住まいの達人コンテスト」最優秀建設大臣賞
大改造!!劇的ビフォーアフター(7回出演、年間大賞2回)
日経アーキテクチュア、住宅建築、新建築、建築知識 他多数
著書／「これからの木造住宅のつくりかた」(エクスナレッジ)
「家づくり解体新書」(KKベストセラーズ)ほか



01

営業経費がかかりません

- webによる受注90%
- 住宅展示場を設けません。[維持管理費がかからない]
- 営業マンをおいてません。[人件費がかからない]

02

現場主義に徹しています

- 宮大工に始まり四代にわたる技術経験。
[創業100年ののれん]
- 直営施工です。[下請けに出さない]
- 毎日現場管理します。
- アフターサービスに徹しています。

03

まごころを込めた手づくりの家

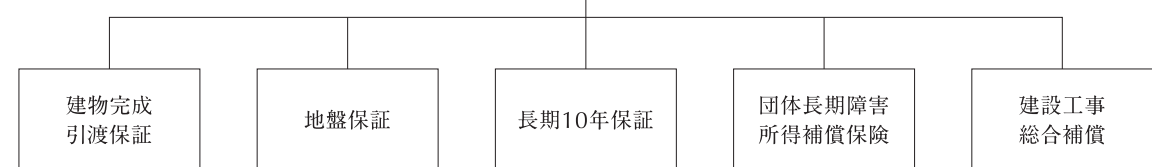
- 素材の一本一本を厳選し、天然乾燥材を使用。
[作業場に在庫]
- 職人魂の名工による手加工。
[プレカット、工場加工はしない]
- 熊本の気候風土にあった桧材、材料100%使用。
[外材、集成材を使わない]

04

耐震、健康住宅への注力

- 二重の耐震構造。[3階建て用金物他、コミセン打ち]
- 大きい構造材。[3重張り防音構造、7寸の大黒柱]
- 白蟻に強い桧の土台使用。[くさび打ち]
- 桧の香りがいっぱい。[階段、押入、敷居等]
- ホルマリン化学物質のない健康塗料。

安心の保証制度対応



企 業 理 念

一、私たちは、信頼のある住まいづくりを目指して現場主義に徹します。

一、私たちは、安心・安全・健康なまごころを込めた手づくりの家を造ります。

一、私たちは、住まいづくりを通して社会に貢献し皆んなが幸せで、やりがいのある会社を目指します。

沿 革

大正 5 年 5 月	村田工務店 創立
昭和46年11月	有限会社村田工務店として法人化
昭和47年 3 月	上益城郡益城町 倉庫及作業場新築
昭和50年 3 月	有限会社村田工務店 3階建事務所新築
昭和50年 4 月	村田工務店不動産部 開設
昭和51年11月	有限会社村田不動産として法人化(分社)
昭和54年 2 月	有限会社村田工務店 倉庫及車庫新築
昭和58年 3 月	有限会社村田工務店 社宅及貸店舗新築
平成03年 1 月	村田和廣 代表取締役就任(三代目)村田由美子 取締役就任
平成09年10月	村田英樹 専務取締役就任
平成18年 3 月	有限会社村田工務店 事務所増築
平成18年10月	有限会社村田工務店 社宅及倉庫駐車場新築
平成22年 6 月	上益城郡益城町 第二倉庫及土地取得
平成24年 4 月	村田和廣 代表取締役会長就任(三代目) 村田英樹 代表取締役社長就任(四代目)
平成28年 5 月	有限会社 村田工務店創業100年

会 社 概 要

商 号	有限会社 村田工務店
本 社	〒861-2106 熊本市東区東野2丁目6番1号
工務作業場	〒861-2223 上益城郡益城町小池1230
創 業	大正5年5月(創業100年)
設 立	昭和41年11月
資 本 金	2,600万円(グループ含む)
取 引 銀 行	肥後銀行、第一信用金庫、熊本銀行
役 員	取締役会長(三代目) 村田 和廣 代表取締役社長(四代目) 村田 英樹 監査役 村田 由美子
社 員	22名(大工11名)
営 業 内 容	建築設計施工、土木工事設計施工、分譲住宅 不動産売買斡旋、外構、造園、エクステリア
許 認 可	熊本県知事(般-23)第2452号 設計事務所登録 第1456号 宅建免許熊本知事(12)第1407号
関 連 会 社	有限会社 村田不動産 東京海上日動火災保険代理店
支 払 状 況	現金100% 借金0円(無借金経営)
建 築 実 績	1,000棟以上